|2・感染症について

- ・保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生を防ぐために、下記の感染症(A)については、病後の登園時に「意見書」の提出をお願いします。また、お子様の様子も必ずお伝えください。
- ・感染力の期間に配慮し、お子様の健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となって からの登園をお願いします。

◎病後の登園時に「意見書(医師記入)」の提出が望ましい感染症(A)

◎病後の登園時に「恵見書	「医師記入)」の提出が望ましい感	^{梁症(A)} B to A constant	
病名	登園のめやす	主要症状	
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過してから	発熱・目の充血・口腔内の 白い発疹・全身の膨瘤疹	
風疹	発疹が消失してから	発熱と同時に出る 小さい赤い発疹	
水痘(みずぼうそう)	全ての発疹がかさぶたになってから	発熱と同時に出る 小さい赤い発疹	
水痘(みずぼうそう)	全ての発疹がかさぶたになってから	痒みを伴う水疱性の発疹	
流行性耳下腺炎	耳下腺の腫脹が発現してから5日経過	耳からあごにかけての	
(おたふくかぜ)	し、全身状態が良好であること	腫れ・発熱	
インフルエンザ	発熱後5日を経過し、かつ解熱後3日 を経過してから	発熱・咳・頭痛・ 咽頭痛・関節痛	
咽頭結膜炎 (プール熱)	主な症状が消え、2日経過してから	急な高熱・結膜炎 目やに・咽頭痛	
百日咳	特有の咳が消失し、 全身状態が良好であること	夜間に激しい咳 (コンコンと乾いた咳)・痰	
結核	感染の恐れがなくなってから	発熱・咳 呼吸困難・食欲低下	
腸管出血性大腸菌感染症 (0 57·026·0 など)	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから	嘔吐・下痢(血便・水様便) 発熱	
流行性角結膜炎	感染力が非常に強いため、 結膜炎症状が消失してから	多量の涙や目やに 激しい目の充血・発熱	
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと 認めるまで	強い目の痛み・異物感・ 充血・まぶたの腫れ・ 目やに・結膜下出血	
髄膜炎菌性髄膜炎	医師の感染の恐れがないと認めるまで	頭痛・発熱・けいれん・ 意識障害・髄膜刺激障害・ 乳児では大泉門膨隆	

感染症(A)「意見書」

T	\Box	#	
思	見	書	(医師記入)
100			

あかつ	き	保	杳	康	景	長	殿

園児氏名			
生年日日	lt:	П	п <i>Н</i>

(病名) (該当疾患に☑をお願いします)

麻しん (はしか)
インフルエンザ
風しん
水痘 (水ぼうそう)
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
結核
咽頭結膜熱 (プール熱)
流行性角結膜炎
百日咳
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26,O111等)
急性出血性角膜炎
侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)

症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

月 日から登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関名

治療担当医師名

※必ずしも治癒の確認は必要ありません。意見書は症状の改善が認め られた段階で記入することが可能です。

※かかりつけ医の皆さまへ 保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが 1 日快適に生活できるよう、上記の感染症について意見書の記入をお願いします。

※保護者の皆さまへ 上記の感染症について、子どもの病状が回復し、かかりつけ医により集 団生活に支障がないと判断され、登園を再開する際には、この「意見書」 を保育園に提出してください。

・下記の感染症(B)の場合は、登園のめやすを参考に、かかりつけの**医師の診断に従い** 「登園届(保護者記入)」の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活が適応できる 状態に回復してから登園するようにご配慮ください。



◎病後の登園時に「登園届」の提出が望ましい感染症(B)

病名	登園のめやす	主要状況
溶連菌感染症	抗菌薬内服後 24~48 時間経過してい ること	急な発熱・咽頭痛・ 赤い細かい発疹・ 舌の赤い発疹
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること	発熱・激しい咳
手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がな く、食事がとれること	手のひら・足裏・口の中に水 疱上の発疹
伝染性紅斑(リンゴ病)	全身状態が良いこと	頬が赤くなったり手足に レース状の発疹
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ ロタ・アデノウイルス等)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の 食事がとれること	嘔吐・下痢・発熱
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がな く、普段の食事がとれること	口腔内の炎症 (口内炎など)・発熱
RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態がいい こと	喘鳴・咳が続く
帯状疱疹	全ての発疹がかさぶたになってから	痒みや痛みを伴う 水疱性の発疹
突発性発疹	解熱し機嫌やよく全身状態がいいこと	解熱後の全身の発疹
アデノウイルス感染症 (咽頭結膜炎 (プール 熱)、流行性角結膜炎、ウ イルス性胃腸炎を除く)	全身状態がいいこと	発熱・目やに・ 目の充血・咳・鼻水 等

感染症(B)「登園届」

	登園届 (保護者記入)
あかつき保育園園長殿	クラス名
	園児氏名
病名「	」と診断され、
医療機関名「	」(年月日受診)
において症状が回復し、集団生活 より登園いたします。	舌に支障がない状態と判断されましたので 年 月 日
	年 月 日
	保護者名
※保護者の皆さまへ	E活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防<

・下記の疾病につきましては必ずしも欠席をすべきではありませんが、集団への感染の恐れがあるために、感染予防のための方策が必要です。保育園でも対応しますが、まずはご家庭で対応してくださいますようお願いします。

◎感染予防のための方策が必要な疾病

病名	症状	感染予防の方策
伝染性膿痂疹(とびひ)	水疱・じゅくじゅくの 傷の痛み・痒み	・浸出液が皮膚につかないように湿った皮疹を ガーゼなどで覆う ・プール利用は中止
伝染性軟属腫(水いぼ)	水疱	・浸出液が皮膚につかないように ガーゼなどで覆う ・プールの利用は自粛
頭じらみ	頭部の痒み	・プールの利用は中止・タオルは共用しない・寝具は毎日取り換える